

お客様事例

JFrogがどのようにしてMonsterのクラウドネイティブ移行を実現したか

会社概要

Monsterは人と仕事をつなぐグローバルリーダーです。Monsterでは毎日、雇用主と求職者を適切に結びつける方法を強化していくことで、すべての職場をより幸せで生産性を向上させることを目指しています。Monsterでは25年間にわたり人材業界の変革に取り組んできました。現在では主力WebサイトのMonster.com®、Monsterの革新的なアプリ、さまざまな製品やサービスなどインテリジェントなデジタル、ソーシャル、モバイルソリューションを利用した最先端の技術を活用しています。

課題

20年間にわたり業界をリーダしてきたMonsterは、ここにきてようやく遅れをとっていたコアテクノロジーを刷新する準備が整いました。モノリシックなアーキテクチャ上に構築されたレガシー・アプリケーションは1つの新機能を本番環境にリリースするのに何ヶ月も要し、イノベーションを遅らせる要因となっていました。「コンポーネント間のいくつかの依存関係はとても複雑でした」と同社のチーフアーキテクトは当時を思い返しながら語りました。「何が実行されているのか、まったくわからない状態でした」そしてクラウドのバケットにアーティファクトを保存するのでバージョン管理、ラベル付け、プロモーションは極めて困難でした。

「Monsterのエンジニア部門で完全なDX(デジタルトランスフォーメーション)に取り掛からないといけないのは明確でした」

この大掛かりなプロジェクトを実現するには、コンテナ化されたマイクロサービスアーキテクチャとKubernetesを中心に構築されたクラウドネイティブ化させるためのコアテクノロジーを大幅に再開発する必要がありました。

結果

現在のMonsterは運用システムにAWSを活用し、ホームリージョンのEKSクラスターで高可用性(HA)のJFrog Platformを自己管理しています。グローバルに分散した15のチームから約90人の開発者がJava Spring Frameworkでコアアプリケーションを構築し、NodeJS、Python、その他の言語環境上で追加開発も行っています。

ArtifactoryはMaven、npm、PiP、Docker、Helmなどセキュアなローカルリポジトリを活用してあらゆる種類の多言語開発を可能にします。Artifactoryの仮想リポジトリはローカルパッケージ管理をMaven CentralやDocker Hubなどのリモートリソースへのキャッシュアクセスとして機能し、XrayはMonsterのすべての脆弱なコンポーネントとビルドが本番環境にリリースされる前に警告します。

業界

広告・人材ソリューション

課題

- モノリシックな開発
- 依存関係の不可視性
- S3バケットのアーティファクト
- アドホックなバージョン管理とプロモーション
- 15ヶ月のリリースサイクル

結果

- クラウドネイティブ開発
- 多言語リポジトリの一元化
- 追跡可能な依存関係
- 脆弱なビルドを防止のブロック
- Dockerに対応したKubernetesへの継続的デリバリー
- オンデマンドリリース

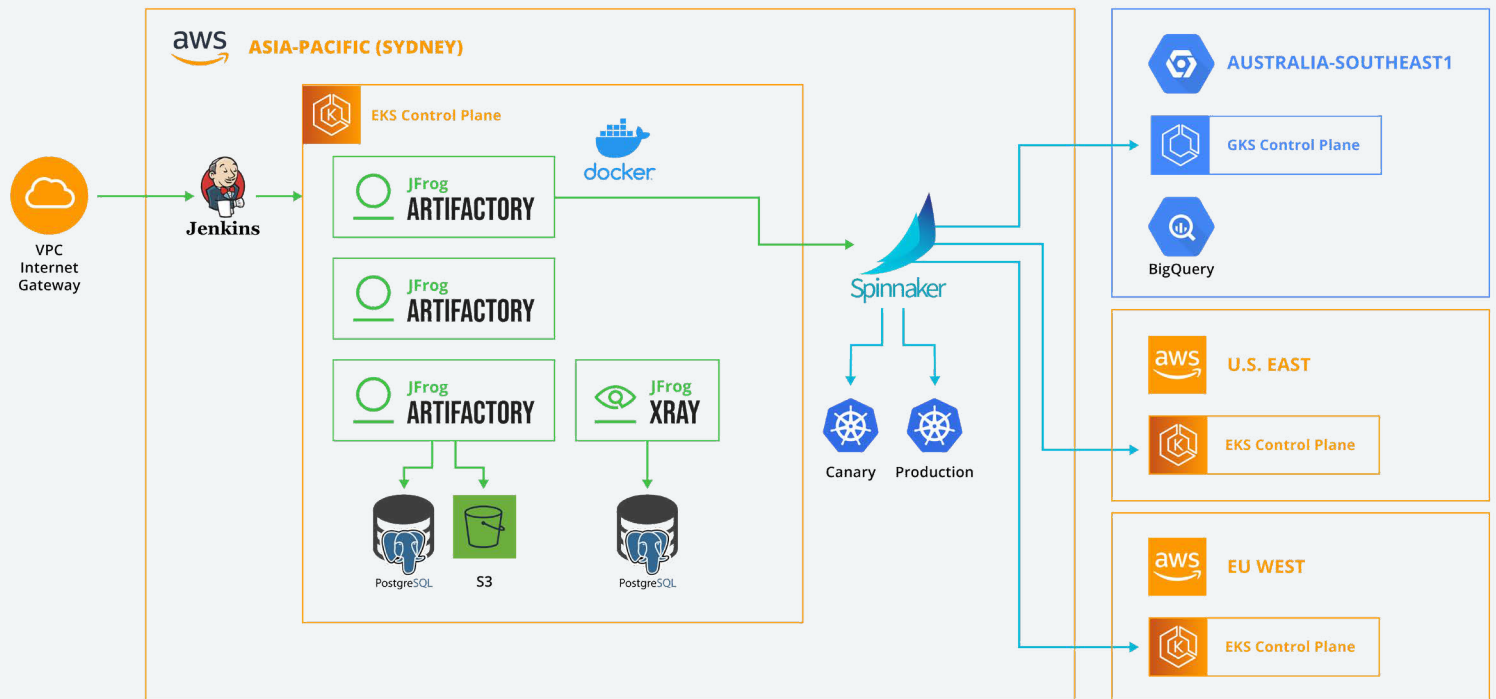
ソリューション

- JFrog Artifactory
- JFrog Xray

「複数のリポジトリを管理できる1名の**人的リソース**の場合、**複数の最善のソリューション**でこれを行うには、約3名のリソースが必要になります」需要に合わせてスケールアップするには「他社の多くのソリューションは我々の要件を満たしていませんでした」

MonsterはJenkinsのJFrogビルドインテグレーションを活用して、開発、Xray脆弱性スキャンを含むテスト、ステージング用のArtifactoryリポジトリを通じてクラウドネイティブのビルドをサポートします。SpinnakerはArtifactoryのプライベートDockerレジストリからプルし、カナリアテストと本番用にAWSなどのKubernetesクラスターへサービスを配信します。

Monsterは以前のような15ヶ月サイクルのリリースではなく、「リクエストがあれば今日にでもリリースできる」と誇らしげです。



「アーキテクチャの観点から見ても今回の移行はサービスを劇的に効率化しています。一元化され適切に管理されたリポジトリに配置し、誰もが特定のコントロールを使用してアクセスできるようにセキュリティやラベリングを適切に行うことは、Monsterが可能な限り迅速に対応するためには必要不可欠です」

Monster チーフアーキテクト
Eggenberger Martin(マーティン・エッゲンバーガー)氏



JFrog Japan 株式会社

〒 100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2 Global Business Hub Tokyo | TEL: 03-4243-1049 | Webサイト: jfrog.com/ja/ | ブログ: jfrog.com/ja/blog/
お問い合わせ: jfrog.com/ja/contact-us/

- JFrogの名称、ロゴマークおよびすべての JFrog製品の名称は、JFrog Ltd.の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
- JFrogは、通知を行うことなく、いつでも該当製品およびサービスの提供、機能を変更する権利を留保し、本書中の誤植または図表の誤りについて責任を負いません。